

圓久寺だより

第 11 号 平成 21 年 1 月

新年のご挨拶を申し上げます。
皆様にとって実り多き 1 年になりますよう
心よりお祈り致します。

御降（おさがり）

元旦や正月の間に降る雨や雪のこと。御降があるとその年は豊作になるとして、大変めでたがられたそうです。「富正月」ともいわれ、昔の人々の五穀豊穡への強い想いが伝わってくる言葉ですね。すべての作物が無事豊作でありますようお祈りしましょう。

● 世の中でもっとも美しい絵

素晴らしい作品を描きたいと願う画家がいました。
彼はある日、結婚を控えた若い花嫁に、この世の中でもっとも美しいものは何かとたずねました。

「愛です。愛は貧しさを豊かに、少ないものを多く、涙も甘くしてくれます。」

今度は牧師さんに同じ質問をしました。

「信じることです。神を心から信じるこそ最も美しいことです。」

今度は戦争帰りの兵士さんに同じ質問をしました。

「平和がもっとも美しいことです。戦争はもっとも醜惡なことです。」

画家は愛と信頼、そして平和をひとつのキャンバスの描こうと思いました。彼は旅を続けながらもっとも美しい絵を描くための対象

を探し求めましたがとうとう見つかりませんでした。お金もなくなり、身も心も疲れ果てた画家はやっとの思いで家にたどり着くことができました。玄関には灯りがともっていました。その瞬間、画家の心は安らぎに満たされました。子供たちは歓声をあげながら飛びついてきました。テーブルの上には食事が用意され、妻は「お帰りなさい。お腹空いたでしょう。早く食べましょう。」と笑顔で迎えてくれました。画家はやっと気づきました。子どもたちの瞳に信頼を、妻の言葉に愛を、そして信頼と愛がある家庭に平和があること知ったのでした。

「僕の家族。これこそ世の中で最も美しい絵なのだ。」

人生の真の幸福とは何か、を気付かせてくれる物語だと思います。目標、夢、誰もが幸福に向かって努力しますが、何を得ても満足できない、好きなことをしているはずなのに何か虚しい自分がいる。そんなとき、素の自分に立ち返ってみることが大切だと思います。ふだん当たり前のようにいる家族、さらには兄弟、友人、会社の同僚などの人たち。周囲の人達に支えられて生きている「自分」に気づくはずです。

私たちは生活のなかで「やらなくてはならないこと」「手にいれたいもの」ばかりに追いかけています。「自分が今、在ること」「ほんとうに大切なもの」を見つめることはなかなかしません。

年の始めに、素直な自分になり、「自分の大切なもの」をしっかりと見つめて心機一転しましょう。後悔しないように。

おじいちゃん おばあちゃんがいてくれたから
おとうさん おかあさんがいてくれたから
家族みんなに支えられて
わたしが、今、生きている

● 仏さまの教えを実践しましょう

人に親切にしよう（菩薩行）

「親切」とは「親の切ない気持」と読むこともできます。わが子が病気になれば千里の道もいとわないう無償の愛、子を思うのと同じように他者へも振り向けることを「親切」というのでしょうか。

また、「心切」「深切」とも表現します。仏さまの教えに親しむことが切（ひたすら）な心境を表わします。素直な心で教えを求めていく、自然体で親しむということです。

ところが、他人様のこととなると様子は変わってきます。ついやりがちなことは「私が助けてあげたから、今のあなたがある」と恩を着せてしまう。こういう人は親切にされたことなどすっかり忘れてしまいます。「私が」「俺が」という「我」の固まりということ。

恩は着るもの、着せるものではありません。人間の法則に、受けた恩は忘れやすく、うぬぼれやすいもの。があります。いつも自分の在り方をチェックしましょう。

見返りを求めない、のが親切

今日 1日 人に親切にしよう と思うだけで

明るく 前向きな気持ちになれます

誰もが親切心を持って、生活に励んでいくなれば、平和な社会になりますよね。人間は与えあって生かされていく生き物ですから、まずは自分から、始めの一步！です。

圓久寺の行事

節分会 2月11日（水） 午後2時より

（お札、お守りを希望する方は、吉田まで連絡をください）

春季彼岸法要 3月22日（日） 午後2時より

花祭り 釈尊降誕会 4月12日（日） 午後2時より

月例信行会 5月24日（日） 午後2時より

月例信行会 6月28日（日） 午後2時より

お盆法要 8月8日（土） 午後2時より

お盆法要は、事前に出欠を取らせていただきますが、他の行事はお気軽にお参りしてください。その際は事前に私、吉田まで電話連絡を頂ければありがたいです。（日程変更の可能性あります）

「笑う門には福来たる」喜べる心が、喜びを招きます。愚痴、不平不満の心が喜びを呼ぶことはできません。暗い心を明るくするには、「良い言葉」を唱えましょう。朝起きたら「今日はいい日だ」

ごはんを頂くときは「感謝してます」、気持ちが明るくなる言葉を連発です。そしてにっこり笑うことを忘れずにいましょう。

圓久寺 吉田俊栄拝

